

<要旨>

大規模災害が発生した際、上水道・下水道の破断や停電が起こることによりトイレが長期間使用できなくなるライフラインの問題がある。東日本大震災では実際にそのような問題があった。首都直下地震が発生し、東京のように人口が多くスペースもなく、ビルの立ち並ぶ土地でトイレが使用できなくなることを想定するとさらに大きな被害が発生すると考えられる。

この研究では実際にどのような被害が発生し問題となるのかということ挙げ、多くの自治体が未対策であるという課題を解決するため自治体の行うべき事前対策をまとめ、災害関連による死者の減少に貢献できる提案をしていく。